

「グラフを複数の観点で考察しよう」

～目的に応じて、複数の観点でグラフから情報を読み取り、結論を導き出す～

B③(1)の結果を分析すると、複数の観点で示された情報とグラフを関連付けて解釈し、表現することに課題が見られました。算数の学習では、収集した情報を表やグラフに整理した後、複数の観点で考察して表現することが大切です。本授業アイデア例では、示された情報とグラフを関連付けて、複数の観点でグラフから情報を読み取ることができることや、複数の観点で考察すると結論が異なる場合があることに気付くことができるようにすることをねらいとした授業を紹介します。

授業アイデア例

しおりさんたちの学校は、「進んであいさつをする」と「本をよく読む」のめあてに取り組んでいます。めあての取り組み状況を調べるために、7月と12月に全校児童に対してアンケート調査をし、その結果をグラフに表しました。そして、グラフから読み取ったことを基に、取り組み状況を新聞で伝えようと考えています。

① めあての取り組み状況を調べるために、グラフを読んでわかる数値を発表し、めあてごとに分類する。

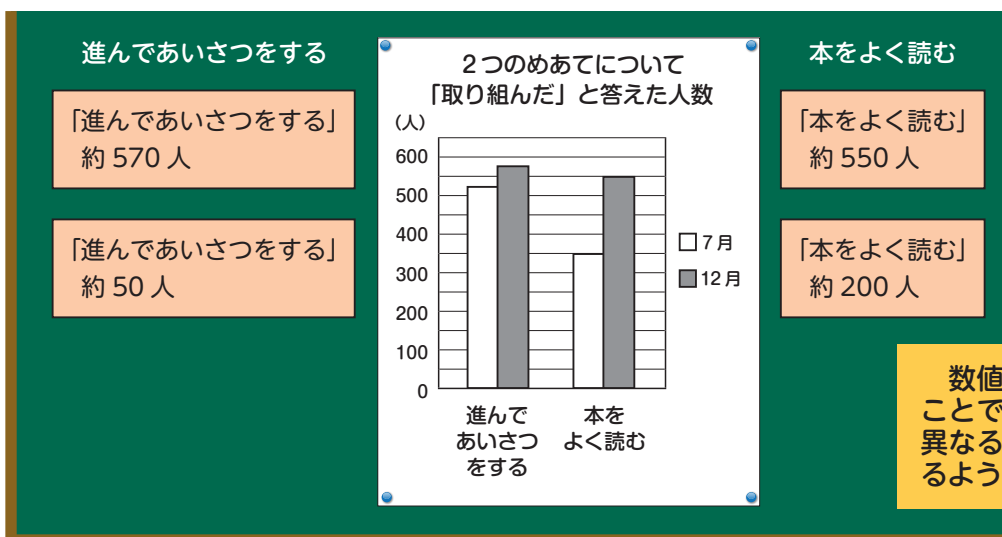


このグラフから、何がわかるかな。

グラフを読んでわかる数を書いて、
黒板に貼りましょう。



教師



② 読み取った数値を、グラフと関連付けて説明し、どのような観点で読み取ったのかを明らかにする。

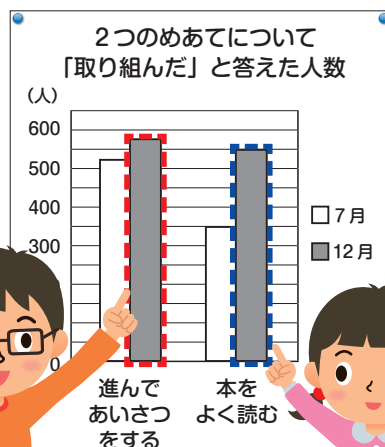


同じめあてについて書かれているものがありますが、人数が違うのはなぜでしょうか。

「進んであいさつをする」
約 570 人

ぼくはこの部分に着目して書きました。

「進んであいさつをする」の12月の人数に着目したのですね。



「本をよく読む」
約 550 人

わたしも12月のほうに着目して書きました。

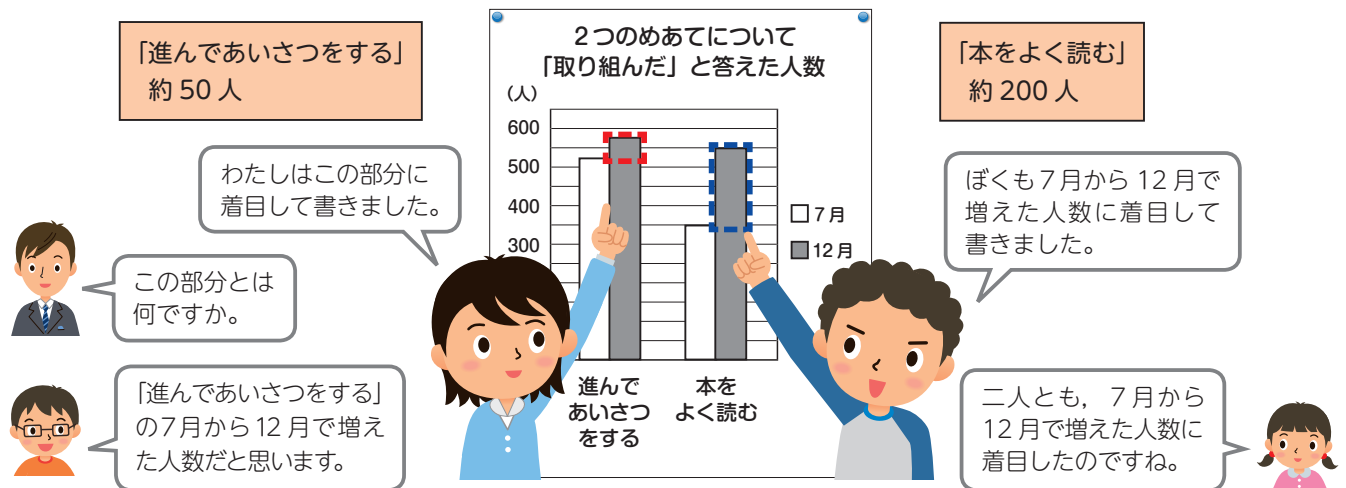
二人とも、12月の人数に着目したのですね。



B③ 情報の関連付けと解釈・表現及び判断

(アンケートの結果調べ)

〔第3学年〕D数量関係 (3) ア

B③(1) 正答率 **20.9%** メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれているのかを書く

グラフのどの部分に着目して読み取った数値なのかを、グラフと関連付けて捉え、その数値を読み取った観点について明らかにすることが大切です。

③ 複数の観点で読み取ったことを基に、結論を検討する。



わたしは「進んであいさつをする」のほうがよく取り組んだと考えます。12月の人数に着目すると、「進んであいさつをする」と答えた人数のほうが多いからです。



ぼくは「本をよく読む」のほうがよく取り組んだと考えます。7月から12月で増えた人数に着目すると、「本をよく読む」のほうが増えた人数が多いからです。



着目することが違うと、結論が違うね。どのような結論を伝えるのか、みんなで話し合いましょう。



グラフを読み取る観点が異なると、結論が異なる場合もあることに気付くことができるようにすることが大切です。

本授業アイデア例

活用のポイント！

- ほかの調査問題（A⑨「折れ線グラフの読み取り」）の場面でも、グラフから読み取ることができる数値を基にわかることをまとめて、説明する活動が考えられます。
- 本授業アイデア例で学習したことを基に、他教科や日常の問題について、グラフなどを用いて考察する活動が考えられます。その際、目的に応じて、数量や変わり方、全体に対する割合など複数の観点に着目して考察し、結論を導き出すことが大切です。